

第33号

発行 社会福祉法人
おいそ福祉会
責任者 理事長 野口富美子

〒259-0102
大磯町生沢293-1
TEL 0463-70-6363
FAX 0463-70-6263

みらい



令和6年（2024年）もよろしくお願いいたします。年明けから能登半島地震が起こり、被災された福祉施設でも未だ不便な状況下にいらっしゃると思っております。お見舞い申し上げます。

現地では、発災直後は大混乱で、皆様大変な不安を抱えていられたと思います。元旦でしたからご自宅やグループホームでお過ごしだった方もあれば、入所施設でゆっくりされていた方も多かったでしょう。避難所では周囲の皆さんと一緒に過ごせた方や、様々な配慮が必要で集団の中での生活は困難を極め、車中泊や被災した家に戻られた方もいらっしゃったようです。また、入所施設では停電や断水で非常に辛い状況でありながら、集団避難というわけにもいかず施設内で踏ん張っていらっしゃるのほとんどです。行政でも、日本知的障害者福祉協会でも支援策を打ち出していますが、かたつむりの家でも利用者自治会が「募金活動を通して自分たちの気持ちを届けたい。」ということになりました。職員も法人もその趣旨に賛同し、少しでも力になればと思います。活動しています。

いつかは起こる我が事として行動しなくてはならないと思います。（末村）

～目次～

- ・ ご挨拶 P1
- ・ 活動報告 P2～P3
- ・ 新任職員紹介、その他報告 P4



活動報告 (各担当より)



Aグループ (生活介護)

ふれあいフェスティバルも終了し通常の活動へと戻ったAグループです。季節を感じていただく活動は継続しています。クリスマス飾りのリースを作って気分を盛り上げて、12月にかたつむりの家クリスマスメニューを美味しくいただきながら皆で歌を歌ってクリスマスを楽しみました。その後は、お正月に向けてボランティアの方達と一緒に門松を作り楽しみました。年末からインフルエンザやコロナウィルスが増え始めているとの情報もありましたが、Aグループの皆さんは元気に過ごされていました。(中澤)



年末のクリスマス会の様子

Bグループ (就労支援B)

Bグループの主な作業は、ペン類や化粧品サンプルの封入・封緘作業ですが、実は色々な作業があります。



左の写真は、通販の発送準備のバーコードシールを貼る作業。発送者からの依頼です。右の写真は、クラフト紙を手動のシュレッダーで細断してパウンドケーキやクッキーを詰め合わせで売る際の緩衝材づくり。これはかたつむりの家で使います。



下の2枚の写真は、季節の取り組み。地域の方々と交流しながらの梅シロップづくり(下左)と町内のカフェを経営する方からの依頼のゆず絞りの様子です。様々な機会を提供して、それぞれの「できる」や「やりたい」の声にこたえています。(湯川)

ワークセンター （就労支援B）

ワークセンターでは、新たなメンバーにSさんと職員の山口さん、新たな職場でチャレンジを始めるため、利用を終了したOさんと、人の異動がありました。Oさんはかたつむりの家の初期から、厨房業務やワークセンターで調理の腕を大いに振るっていただいておりますが、新天地で強みの調理を活かし希望を実現してほしいと願っています。（高野）



外部就労 （就労支援B）

今回は、就労先の一つ、(株)オカムラの昨年末のイベント参加の紹介です。オカムラの複数の工場・事業所から社員・家族総出の社内親睦のイベントに、「おやつDE社会貢献」というサブイベントで焼き芋と焼き菓子の販売をさせていただきました。商品は完売の上工場敷地内のミカン園のミカン狩りをはじめ、ほぼフリーの飲食に加えて、熱気球も登場し、皆さん大満足でした。（木村）



総 務

日頃から法人、かたつむりの家の活動に利用者や家族の皆さまをはじめ、後援会や地域の方々の温かいご支援とご協力に心からお礼申し上げます。

早いもので現在の場所に移転しもうすぐ2年になります。利用者の皆さまが新しい建物にすっかり慣れ、元気に通所していただけていることに感謝しています。玄関からカウンター越しに「おはよう！」「ねえねえ、あのさあ・・・」「げんき～？」と声をかけてもらい、いつも元気をいただいています。

総務課は支援課と共に、かたつむりの家が利用者・家族の皆さまに喜んでいただける「地域に根ざし、開かれた事業所」になるよう取り組みます。また今後も働く職員がやりがいと誇りをもって働ける職場環境整備に努めます。

新たな年が皆さまにとって幸多きものでありますよう、心より願っております。（大岩）



～第一回 かたつむりの家 ふれあいフェスティバル無事開催されました～

昨年10月7日（土曜日）に、「かたつむりの家ふれあいフェスティバル」を開催しました。初めての事業所単独開催でしたが、多くの方々のご協力のもと楽しいお祭りが開催できました。利用者もフェスティバルに向けての準備として、たくさんの絵を描いたり、ダンスの練習やハンドベルの練習、事業所紹介のポスター作製等、本当に頑張ってくださいました。来客用駐車場も（株）アマダ様、おいそ学園様、後藤様（月京地区）のご協力もあり不足することなく、ほぼ全ての方が参加できました。また、生沢地区を始め、近隣の方々も足を運んでいただき、想定していた以上の盛り上がりとなりました。足りない点も多々あったかと思いますが、今後も生沢地区や町、もちろんかたつむりの家を盛り上げるために継続していきます。（中澤）

～相談室こんぱすより～

この度被災された方々には心からお見舞い申し上げます。私たちもいつ同じような災害に見舞われるかわかりません。被災地の様子を伝えるニュースに触れるにつけ、発生の瞬間やその後の混乱で、恐怖感や、非日常となった環境の中で、先の見通しが立たない状況に誰もが混乱し、不安に苛まれるのだと思います。ましてや様々な生きづらさを抱えた方やそのご家族にとっては、その不安はさらに大きなものでしょう。その時の為に市町村で定める「災害時要援護者支援事業」を参考にしながら、こんな配慮が必要な人がここにいると行政に申請し、スムーズな避難ができるよう協力してもらいたいと感じました。（末村明）

ご協力ありがとうございます 令和5年8月～令和6年1月

ご寄付 ・おいそ福祉会後援会様（おやつ代、ふれあいフェスティバル開催費）

・太田ヨイ様 ・田中郁代様 ・片野温様

お祝い ・檜山泰生様 ・社会福祉法人翔の会様 ・NPO法人山晃央園様 ・山晃央園磯部様

かたつむりの家は多くの皆様ご協力いただき運営させていただいております。心より感謝申し上げます。

（編集後記）今年は新年スタートから色々な出来事がありました。被災された方々、また北陸方面に関係者がいらっしゃる方には心よりお見舞い申し上げます。かたつむりの家の「元気！」が届くよう、今年も利用者、職員ともにたくさん笑顔で頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願いします。（中澤）